

# 府民の森パークレンジャーを募集しています!

府民の森パークレンジャーは、府民の森の豊かな自然の魅力と訪れる人々をつなぐ架け橋として、自然や環境に関わる様々な活動を通じて自然の大切さを伝えるボランティア。18歳以上の方ならどなたでも参加可能です。

**【活動内容】** 自然体験活動の企画運営、森林保全活動、自然体験リーダーの育成、様々な団体への環境教育等の活動支援、環境調査など

**【応募資格】** 満18歳以上で自然や環境に興味のある方で養成研修を原則すべて受講できる方 など

**【募集人員】** 30名程度

**【費用】** 養成研修受講料 10,000円 (4月~11月 14回)

**【申込み】** 下記ホームページからお申込みください。  
http://www.japan-parkranger.com



詳しくはホームページで

府民の森パークレンジャー  検索

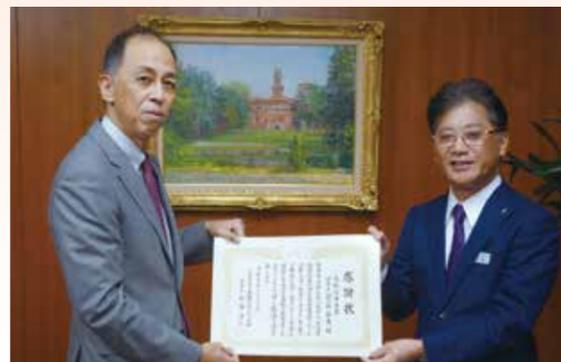
左記QRコードからも応募できます!

## 永和信用金庫様から寄附金をいただきました。

永和信用金庫様では、お客様に地球環境問題を訴え、一人でも多くの方に関心を持ってもらう事を目的に、今年で13年目となる個人向け定期積金「えいわエコ定期積金」を8月から9月の2か月間募集されました。

この間の契約高の中から608,000円を、地球温暖化防止活動に役立てるため、去る11月13日大阪府地球温暖化防止活動推進センターに寄附していただきました。

寄附金は、えこっとOSAKAの発行費用やセンターの活動費用の一部に充当します。



マスコットキャラクター「えこたま」



みどり公社HPにアクセス!



「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちょこっと(少し)だけ、えーこと(良いこと: やさしい)、エコロジカルにしよう、大阪言葉を交えた意味を込めています。

編集・発行/大阪府地球温暖化防止活動推進センター  
〒541-0054 大阪府中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社  
TEL.06-6266-1271 FAX.06-6266-8665 http://osaka-midori.jp/  
編集協力・印刷/株式会社ウエルハーツ  
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町17-1 コンパノビル 2F  
TEL.06-6378-9500 FAX.06-6378-9550 http://www.w-hearts.jp/



# 地球温暖化問題 これからの10年を「行動する10年」に!

昨年12月、地球温暖化問題について話し合う国連の国際会議、COP25がスペイン、マドリッドで開催されました。今回の会議では次の2つが焦点となり、一つ目は地球温暖化問題に対処する国際枠組み「パリ協定」が2020年から本格始動するのを前に、2018年のCOP24で合意できずCOP25へ先送りになっていた運用ルールに合意すること、二つ目は各国に対し、現在国連に提出している排出削減目標を引き上げ、行動強化を促す明確なシグナルを発信することでした。一つ目については、今回も合意できず、今年イギリス、グラスゴーで開催されるCOP26に先送りされました。特に「市場メカニズム」と呼ばれる、他国での取り組みによって発生した温室効果ガスの削減量を自国の削減として計上するルールについては、削減量の二重計上の防止方法や、京都議定書の下で発生した排出枠をパリ協定の下でも使えるかどうかなどについて最後まで揉めました。COP26では、「抜け穴」のない「市場メカニズム」に合意する必要があります。

二つ目については、COP25は、各国が新たに提出する目標が既存のものよりも前進を示すもので、そのときその国にとって最も野心的な目標であるというこれまでの決定内容を再確認したうえで、各国が国連に提出している目標によって達成できる削減量とパリ協定の目標達成のために必要な削減量との間に大きな不足があるという認識を踏まえて、目標を検討し、2020年に再提出することを各国に要請すると決定しました。温室効果ガスを大量に排出している国々は目標引き上げを強く促す合意に消極的で、結果としてCOP25は、各国が削減目標を野心的に引き上げ、気候変動対策を直ちに強化することを求める市民、特に若者の声に応えることに課題を残しました。

産業革命前と比べて平均気温が約1℃上昇し、世界中で異常気象が頻発することで、暮らしや経済活動が深刻な脅威にさらされています。パリ協定は、地球の平均気温の上昇を産業革命前と比べて2℃を十分に下回るよう抑制すること、努力目標として1.5℃以下を目指すことを掲げています。しかし、COP25直前の11月に国連環境計画(UNEP)が公表した報告書によれば、2018年の温室効果ガスの総

排出量は増加し、二酸化炭素換算で553億トンに達したとされています。また、同報告書では、このままでは今世紀末に平均気温が3.2℃上昇するとし、2℃目標を達成するには、2020年から毎年2.7%、1.5℃目標を達成するには毎年7.6%の排出量の削減が必要であると指摘しています。

2020年、各国は新たな排出削減目標を国連に提出することになっており、また、5年ごとに既存の目標を上回る新しい目標を提出することになっています。IPCCは、2030年までの対策が極めて重要だとしていますが、2030年までに目標を見直す機会は残り2回しかなく、2020年に各国が提出する目標が非常に重要な意味を持つのです。

COP25で日本は、石炭火力発電維持問題と、小泉環境大臣が脱石炭についても排出削減目標の引き上げについてもスピーチで言及しなかったことで、世界の環境NGOから、その日の交渉で最も後ろ向きな発言や行動をした国に贈られる不名誉な「今日の化石賞」を2回も受賞するなど、国際社会から厳しい批判にさらされました。

スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんは、2020年からの10年が人類の未来を決める10年だと発言しています。まさに、これからの10年が地球温暖化問題にとっての「正念場」です。英知を出し合い、真正面から取り組む必要があります。

個々人が、「何をすべきか・すべきでないか」を真剣に考え、取り組まなければならない。

日本もこれからの地球温暖化問題に もっと真剣に取り組んでいきたいね!



日本に2回目の「化石賞」(写真提供/CASA)

地球温暖化問題に取り組んでいる世界のNGOのネットワークであるCAN(気候行動ネットワーク)が、会議の会期中、各国の交渉に臨む姿勢を毎日評価し、地球温暖化防止交渉にマイナスな発言をした国に与える不名誉な賞。「化石」とは化石燃料を指すとともに、化石のような古い考え方やその椰揄も入っています。

CASAでは、地球規模の環境問題と地域レベルの大気環境の保全についての調査・研究・提言、海外のNGOとの交流・連帯、地域の大気汚染被害者の運動の支援などを行っておられ、COPには第一回目から参加されています。本原稿は会議に参加されたCASAのご協力を得て作成いたしました。

### 2020年1月3日 大阪府民の森 イベント情報

<p><b>実験・雪の結晶づくり</b> 【期間】1月26日(日) 【時間】11:00~14:00 【定員】30名 【場所】府民の森ちはや園地 【料金】500円 【コース】ちはや星と自然のミュージアム 【集合】ちはや星と自然のミュージアム 【申込】1か月前から大阪府民の森HPより申し込む。 ペットボトルを使って、雪の結晶づくり体験します。</p>	<p><b>冒険登山</b> 【期間】3月1日(日) 【時間】9:00~16:00 【定員】50名 【料金】500円 【コース】近鉄服部川駅~みずのみ園地~なるかわ園地~近鉄福原山駅 【集合】近鉄服部川駅 9:00 【申込】1か月前から大阪府民の森HPより申し込む。 生駒の修行場北方の宿など生駒山系の隠れた名所を訪ねます。</p>	<p><b>クライミング体験講習会</b> 【期間】3月8日(日) 【時間】13:00~15:30 【定員】40名(小学4年生以上) 【場所】府民の森ほしだ園地 【料金】2,500円 【集合】ほしだ園地ビトンの小屋 【申込】1か月前から大阪府民の森HPより申し込む。 高さ16.5mの本格的なクライミングウォールに挑戦(初心者歓迎)専門の指導員のもと、どなたでも気軽に楽しめます。</p>
<p><b>むろいけの森創りプロジェクト</b> 【期間】3月20日(金・祝) 【時間】10:00~15:30 【定員】50名 【場所】府民の森むろいけ園地 【料金】無料 【集合】むろいけ園地森の工作館 【申込】概ね1か月前から大阪府民の森HPより申し込む。 ナラ枯れ等により被害を受けた森林を再生する森づくり活動です。森林に興味のある方ならどなたでも参加できます。</p>	<p><b>おもしろウォーク</b> 【期間】3月22日(日) 【時間】10:00~15:00 【定員】50名 【場所】府民の森むろいけ園地 【料金】500円 【集合】府民の森むろいけ園地森の宝島 【申込】当日現地にて受付 五感で自然を体感。パークレンジャーとむろいけ園地の自然を楽しむガイドウォーク。</p>	<p><b>巨石を巡る冒険ハイキング</b> 【期間】3月29日(日) 【時間】9:00~15:00 【定員】30名 【料金】600円 【コース】京阪私市駅~くろんど園地~倉治公園 【集合】京阪私市駅 9:00 【申込】1か月前から大阪府民の森HPより申し込む。 巨石を訪ねて...、自然の力、不思議を体験する春のハイキング。</p>



### えこっと OSAKA にご意見をお寄せください。

ご家庭や会社で取り組んでいるエコ活動や、身近で地球温暖化防止に役立っている商品、設備、施設等ありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、右のQRコード、または下記のHPよりお寄せください。みなさんのご意見・ご感想お待ちしております!

ご意見はこちらから <https://goo.gl/aZVbQn>



### えこっと OSAKA を購読しませんか?



継続して購読されたい方は、1期(年3回発行)送付分の切手、84円3枚を添えて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分を送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。

●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 大阪府地球温暖化防止活動推進センター  
お近くの市町村(環境担当部署)、消費生活センター、図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっと OSAKA は、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です

本紙は1部あたり10.2gのCO<sub>2</sub>(ライフサイクル)を排出しますが、これを大阪府域において実施された森林吸収(間伐促進型プロジェクト)で創出されたクレジットでオフセットしています。



小泉環境大臣と環境NGOとの意見交換の様子(写真提供/CASA)



2019年度 大阪府環境交流パートナーシップ事業

# 大阪エコ・パートナーシップ交流会

SDGsで未来を創る 自然～豊かな環境を育む～

開催レポート

9月29日に「大阪エコ・パートナーシップ交流会」が行われました。前回到続いて2回目の開催となります。今回のテーマは「自然～豊かな環境を育む～」です。「自然とともに生きることの大切さ」を「周りに伝える方法」を交流しながら考えました。

**場所：**大阪府社会福祉会館  
**講師・進行：**井澤 友邦 さん (こども国連環境会議推進協会 事務局長)  
**講師：**和田 太一 さん (NPO法人 南海ウェットランドグループ理事)  
**事例発表：**中村 智子 さん (活動推進員 チームフードマイレージ)

## II 交流セミナー

### 「何のためにSDGsは存在しているか」

さて、「自分の好きなことだけにお小遣いやお年玉を使い込んでしまいました。7月29日の時点で貯金ゼロで年内のお小遣いも前借済み」という状況の時、皆さんはどうするでしょうか。「大変な状況だ、もっと考えて使うことはできなかったのか?」と大半の人は考えると思います。しかしこの状況は、人類が直面している状態なのです。

「地球全体で人類が使う自然資源の消費量が、地球の一年分の資源量(再生産量)を超えた日」を「アース・オーバーシュート・デー」といいます。

2019年は最も早い到来といわれている「7月29日」です。いま現在、人類はいわゆる「赤字状態」で過ごしているといえるのです。2017年で地球1.7個分の資源を使っています。2030年には地球2個分の資源が必要になるといわれています。

このままの生活、ライフスタイル、価値観のままではいずれ持続不可能な状態に陥る、地球に住む私たちみんなが自覚をもって「変革=Transforming our world」しなければならぬ時にきているのです。

### 持続可能な開発目標 (SDGs) とは

- 2015年9月、ニューヨーク国連本部において、193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。
- 気候変動や格差などの幅広い課題の解決を目指しています。
- 先進国も途上国もすべての国が関わって解決していく目標です。

## III 人材育成講座

### 「パートナーシップで海の環境を守る」



和田さんは、SDGsのゴールの1つ、「海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」のために、大阪南港野鳥園で活動をされています。

この野鳥園は、埋め立て工事で行き場を失った野鳥たちを守りたいという市民運動がきっかけに誕生した人工の干潟です。干潟では、陸から流れ込む有機物を二枚貝や底生生物などが分解するため、水質浄化機能が高く、底生生物を餌とする魚類や水鳥などが数多く集まります。

そんな野鳥園も開園以来様々な問題に直面しています。自然干潟と異なり海水の出入りが少なく、流入河川もないため、土砂や栄養分の供給等がありません。また、年々地盤沈下が進み、干潟、ヨシ原の面積が減少していきます。これを放置しておく環境が悪化し、生物が棲めなくなり、人工干潟だからこそ、人間による監視や手入れが必要であるということです。アオサの繁殖や漂着ごみの清掃など、野鳥園を守る

人たちの熱意を感じられる取組みは、目を見張るものがありました。

このほか、渡り鳥とパートナーシップの関係についてお話いただきました。「ヘラシギ」は世界に500羽以下で最も絶滅が危惧される鳥類のひとつで、今すぐに緊急措置をとらなければ10～15年で確実に絶滅すると言われています。ヘラシギを守るため、「東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ (EAAFP)」が結成され、渡りのルートにある繁殖地のロシア、中継地の日本・韓国・中国、越冬地のミャンマー・バングラディッシュ・タイなどで協力して様々な取組みが行われています。

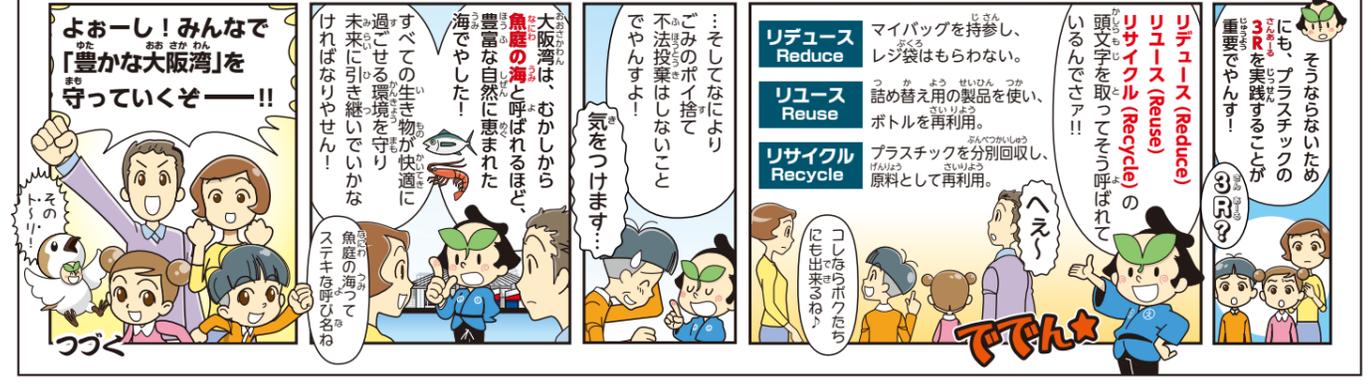
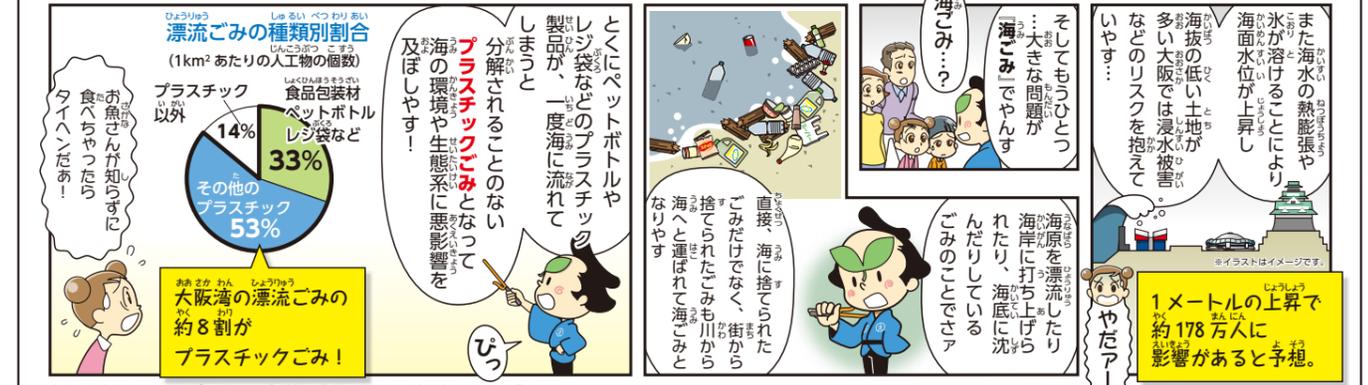
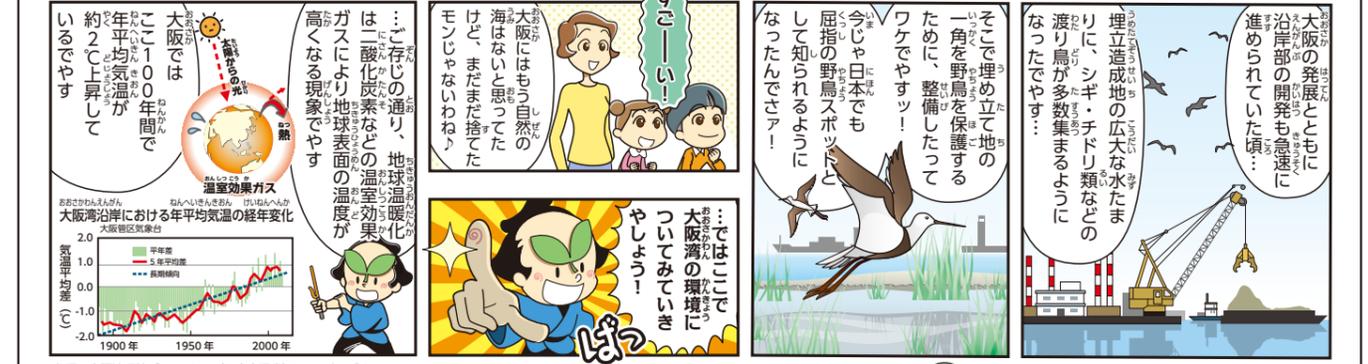
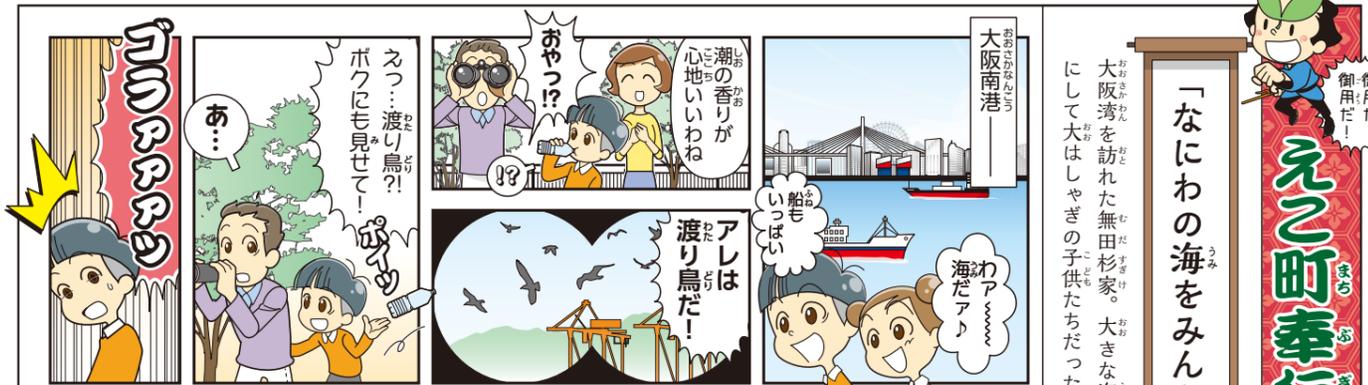
### III 「豊かな環境をはぐくむ」

海だけに限らず、環境を守っていくためには自分の活動以外にも周りの人や地域、たくさんの国とパートナーシップを結び、さらに大きな行動につなげることが重要です。一人ひとりの意識を大切に、さまざまなつながりを持つことで世界は初めて変革していくのだと感じました。

この交流会を通して皆様にも環境を考え行動するきっかけになればと思います。



会場の様子



会場ではセミナーでの話がイラストとともにリアルタイムにまとめられていきました



「なにわの海をみんなで守れ!」の巻

大阪湾を訪れた無田杉家。大きな海を目の当たりして大はしやぎの子供たちだった...

大阪の発展とともに沿岸部の開発も急速に進められていた頃...

また海水の熱膨張や水が溶けることにより海面水位が上昇し海抜の低い土地が多い大阪では浸水被害などのリスクを抱えています...

そうならないためにも、プラスチックの3Rを実践することが重要ですよ!

参照：大阪湾環境データベース(国土交通省)ホームページより

参照：大阪府における海洋プラスチックごみ対策の取組みについて(大阪府ホームページ)より